授業概要（シラバス）

■科目基本情報　　専門学校日本ホテルスクール

科目番号	MS607	分類	講義科目
授業科目名	和装着付け	英文授業科目名	Kimono Dressing
年度	2025年度	年次	昼間部　2年　　ブライダル科
開講学期	前期	授業の方法	講義
単位数	2単位	年間授業時間数	28.8時間
科目区分	専門科目	授業コマ数	24コマ
担当教員名	松村陽子・谷本理沙　実務経験あり		
経歴	ハクビ京都きもの学院講師。銀座校所属。		

■授業・科目情報

学習目標	1.きものと帯の各部および着付に必要な和装小物の名称や、きものTP・O（約束事）を理解する。 2.きものの基本的な着付けと帯結びの方法を理解し、自身で着て帯結びが出来るようにする。 3.TPOに合わせた着物と帯の種類、格、約束事を理解する。 4.着物で来られるお客様に不安なく対応できるように、立居振舞や着崩れた時の対応を理解する
教科書	『きものの着方と名古屋帯の結び方～基本の技術と知識～』

授業計画

回数	内容
1	きものに適した体型づくりと補整の方法　小物の説明と着装手順
2	長襦袢の着方、たたみ方、きものと帯の各部の名称
3	前回の授業の復習（体型づくりと補整、小物の説明と着装手順ほか）
4	前回の授業の復習続き（きものと帯の各部の名称に関する小テスト）
5	きものの着方、たたみ方　きものの種類と格（知識）
6	長襦袢の着方、たたみ方の復習
7	きものの着方、たたみ方の復習
8	名古屋帯のたたみ方、帯の巻き方
9	復習（きものの着方、たたみ方、名古屋帯のたたみ方、帯の巻き方）
10	復習続き（きものの着方、たたみ方、名古屋帯のたたみ方、帯の巻き方）
11	名古屋帯のお太鼓結び　帯揚げ・帯締めの結び方
12	きものの着方、たたみ方の復習
13	名古屋帯のたたみ方、帯の巻き方の復習
14	名古屋帯のお太鼓結びの復習　収納時の名古屋帯のたたみ方
15	名古屋帯のたたみ方、帯の巻き方の復習
16	名古屋帯のお太鼓結びの復習　収納時の名古屋帯のたたみ方の復習
17	帯に関する知識（帯の種類と格、きものとの格合わせ、帯の柄付け）
18	美しく見せるポイント（着物姿をより美しく見せるために）　着姿の仕上げ①
19	前回の復習と着姿の仕上げ②
20	上手な着崩れの直し方（外出先での着崩れの直し方）
21	着姿の仕上げ③（できるだけ手早く、きれいに着付ける）
22	きものでの立居振舞（立ち姿、立礼、座礼）　ウォーキング（美しい歩き方）
23	着付けの総仕上げ（講師のアドバイスなしで自分で着付る）
24	筆記試験

授業の進め方	テキスト『きものの着方と名古屋帯の結び方』を使用して、着付に必要な「きもの・帯」の各部の名称や和装小物の説明、着装手順を模範実技を示範しながら授業を進めます。適宜、小テストを行い、授業の理解に役立てていきます。
試験の実施方法	前期1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点＝50%（10ポイント） ②出席率　＝50%（10ポイント） 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント（合計20ポイント）に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。
関連科目	『婚礼衣装』
参考書	適宜授業内等で紹介します。
学生へのメッセージ	着物を通して日本の文化により興味を持っていただけたらと思います。体調に気を付けて、休まず、遅れず、頑張って受講してください。

以上